

平成22年度第10回教育研究評議会議事要旨

日時 平成23年1月21日（金）15時30分～17時05分
場所 本部2階大会議室
出席者 佛淵学長、瀬口理事、中島理事、米倉理事、宮崎理事、上野文化教育学部長、富田経済学部長、濱崎医学部長、林田工学系研究科長、野瀬農学部長、稲岡附属図書館長、遠藤教養教育運営機構長、松島医学部附属病院副病院長、只木総合情報基盤センター長、福本評議員、平地評議員、後藤評議員、古賀評議員、藤田評議員
オブザーバー 川上監事 他

○ 前回議事要旨について

学長から、平成22年度第8回教育研究評議会議事要旨（案）を評議員に送付、確認したところ、加除・修正等の意見はなかったため、原案のとおり確定した旨、報告があった。

○ 審議事項

1. 佐賀大学医学部規則の一部改正について

医学部事務部長から、医学科のカリキュラムを見直すことに伴い、教養教育科目のうち英語の単位数を「6」から「4」に改め、専門教育科目のうち機能・系統別PBL科目の単位数を「54」から「56」に改める旨、説明があり、審議の結果、了承された。

2. 佐賀大学学生の懲戒等実施細則（案）について

瀬口理事から、平成22年3月14日に発生したラグビー部員の飲酒死亡事故の調査結果等を踏まえ、学生の懲戒処分を行う場合の基準（標準例）を定めた実施細則を制定し、学生の事故・不祥事等の抑止及び教育・生活指導の徹底を図りたい旨、説明があった。

評議員から、一部文言に対する修正意見及び第4条の解釈について確認があり、審議の結果、第4条の解釈として、学長が行う懲戒に加えて学部長等が行う嚴重注意を行うことができるのかを整理した上で、指摘のあった事項を踏まえた文言の修正を行うことが学長に一任され、了承された。

3. 地域学歴史文化研究センターに係る評価結果について

中島理事から、地域学歴史文化研究センターの時限が平成23年3月末であることから、総合研究戦略会議において役員会指針2及び4に基づき、評価を実施した結果、総合評価が「SS」であった旨、説明があり、次いで、学長から、本評価結果を受け、同センターの今後について、第2期中期目標期間の平成27年度まで現状の学内共同教育研究施設のまま存続させたい旨、提案があり、審議の結果、了承された。

4. 佐賀大学国際戦略構想（案）について

中島理事から、佐賀大学中長期ビジョン及び第2期中期目標・中期計画に基づき、本学の国際化の基本的な目標と戦略をまとめた佐賀大学国際戦略構想（案）について説明があり、次いで、各学部長等から、本案に対する各学部等からの意見が出され、審議の結果、了承され、各学部等からの意見を附帯して役員会に付議することになった。

なお、評議員から、本構想（案）が具体的かつ詳細な内容となっているため、役員会で本構想（案）が了承された場合に問題が生じないかとの懸念が示され、学長から、役員会での本構想（案）の取扱いについては、指摘のあったことを検討の上、対応したい旨、発言があった。

5. 国際交流センター（仮称）設置準備委員会要項（案）について

中島理事から、国際交流センター（仮称）の設置に関して必要な事項を審議するため、要項を制定して、国際交流センター（仮称）設置準備委員会を設置したい旨、説明があり、審議の結果、了承された。

6. その他

特になし。

○ 報告事項

1. 平成22年度国立大学法人佐賀大学補正予算について

財務課長から、平成22年度国立大学法人佐賀大学補正予算について、運営費交付金及びオーバーヘッド経費（間接経費）対象の収入・支出予算の報告があった。

2. 国立大学法人佐賀大学平成23年度予算編成の基本方針について（平成23年度国立大学法人佐賀大学運営費交付金予定額等（政府案）の概要を踏まえて）

財務課長から、本学の平成23年度運営費交付金予定額（政府案）が対前年度比2,200万円増の108億4,300万円であった旨、報告があり、次いで、「国立大学法人佐賀大学平成23年度予算編成の基本方針」について報告があった。

3. 全学教育機構（仮称）設置準備室における検討状況について

瀬口理事から、平成23年1月18日に教育改革推進部会を開催して、全学教育機構（仮称）の設置に係る中間報告に対する各学部等からの意見及び要望等を取りまとめた旨、報告があった。

4. その他

農学部長から、農学部の鈴木 信彦 教授の火災事故について報告があった。